



こんにちは！ 子育て支援センターです

令和5年3月
大野市地域
子育て支援センター

今年度も、あとひと月で終わろうとしています。少し前には、ハイハイしていたお子さんも、元気に歩けるようになったり、泣いたり笑ったり怒ったりと色々な感情表現をして、私たちを驚かせてくれます。この1年のお子さんたちの成長に目を見張りながら、お子さんや保護者のみなさんとともに、喜んだり驚いたり楽しく幸せな時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

まだまだ寒いですが、三寒四温を繰り返しながら、もうすぐ暖かい春がやってきますよ。

支援センターでは、親子で色々な遊びを楽しんでいます。



人形を並べて寝かせ、毛布を掛けてあげようとしています。いつもお母さんにしてもらっているのかな？まずは、見たもの（家族の言動など）を真似ることから始まります。何かのシーンを再現したり、好きな役割になりきったりして楽しめます。

「シール貼りペタペタ」「お絵かきぐるぐる」1歳半頃になると指先を使って物をつまんだり、手首を動かして線を描いたりができるようになります。

ごっこ遊びは、言葉のやり取りが始まる2歳頃から活発になります。

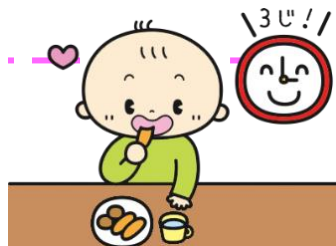
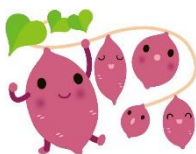
ごっこ遊びの前段階と言える「再現遊び」や「見立て遊び」は、1歳頃に始まります。何かを耳に当てて電話をする真似をしたり、積み木を車に見立てて動かしたりする遊びがそうです。

子どもが自分の世界観の中で、自由に想像力を膨らませて遊び、ストーリーを展開させていきます。ストーリーをどう展開させていくか、子どもなりに考えて楽しめます。

おいしく 正しく おやつ

幼児期の子どもは大人に比べて胃が小さく、一度にたくさん食べることができません。そのため、おやつで補いますが、食事とのバランスや内容、量などを考えていきましょう。

甘いお菓子を欲しがると与えたりダラダラ食べさせたりすると、食事の妨げになりますので気をつけましょう。また、袋に入ったお菓子をそのまま与えるのではなく、お皿に取り分けたり、野菜や果物も積極的に取り入れたいと思います！



★ 「おはなしはマスク」「三密の回避」「こまめな手洗い」「換気」など基本的な感染対策の徹底を！！ ★
★ お子様やご家族に体調に少しでも変化がある方がいる場合は、利用を自粛してください★